

2014年1月30日

～「ペットの飼育費に関する家計簿調査」～

アベノミクスはペットの家計にも好影響！？

ペットにかける1ヶ月の平均飼育費用

前年と比べて**10.3%**増加！

T&D保険グループのペット&ファミリー少額短期保険株式会社（東京都文京区、代表取締役社長：仲尾 孝）は、ペットを飼っている20～70代の男女1,215人を対象に、毎年恒例の『ペットの飼育費に関する家計簿調査』（インターネット調査）を実施しました。

ペットの1ヶ月の飼育費用を【食費】【医療費】【美容費】など7つの項目ごとに分けアンケートを行った結果、1ヶ月の平均飼育費用が「10,002円」と前年同時期の調査結果「9,065円」と比べ月間費用で「935円」増加（10.3%）していることが分かりました。アベノミクス効果による景気の回復基調を踏まえ、個人消費が増加するなか、ペットの家計についても回復傾向が見られました。費用別では、特に【医療費】が増加傾向にあり、ペットの健康への投資意識が高まっていることがうかがえます。

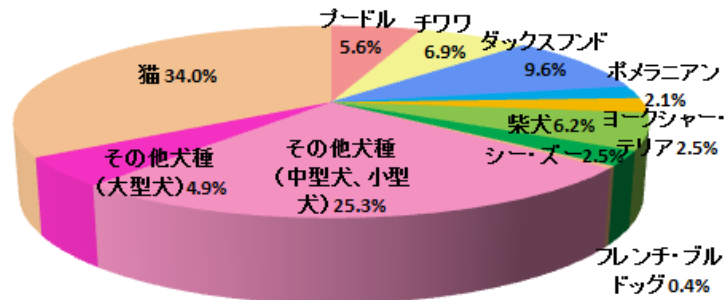
また、4月の消費税増税に対する意識調査も同時に実施しており、消費税増税前に駆け込みで「購入しようと思わない」と回答している方が6割以上（64.0%）とペットの家計においては消費税増税に伴う駆け込み需要はあまりみられず全体的に落ち着いた対応をされているペットオーナーが多いようです。一方、駆け込みでの購入を予定しているペットオーナーについては、「ペットフード・おやつ」・「ペットシーツ・トイレ用品」といった日用品の購入マインドが高く、これらの商品では駆け込み需要の反動の可能性が考えられます。また、消費税増税後に「節約しようと思わない」と回答している方が5割以上（56.4%）という結果となり、ペットのための費用を惜しまない傾向が見てとれます。

ペットの家計は、ペットオーナーの生活環境や今後の景気動向に影響を受けることが想定されますが、今回の調査ではペットの家計に対する消費税増税の影響は限定的であるという結果となりました。一方、2015年10月に再度の消費税増税が予定されており、今後わたしたちの家計だけでなくペットの家計への影響についても更に注視する必要があるようです。

調査概要

- 調査対象：全国の20～70代の男女（ペットを飼っている方）
- 有効回答数：1,215サンプル（男性・834サンプル、女性・381サンプル）
- 調査方法：インターネットリサーチ
- 調査期間：2014年1月7日（火）～2014年1月10日（金）

調査結果概要



■飼っているペットの種類

■1ヶ月の平均飼育費用の対比（全体）

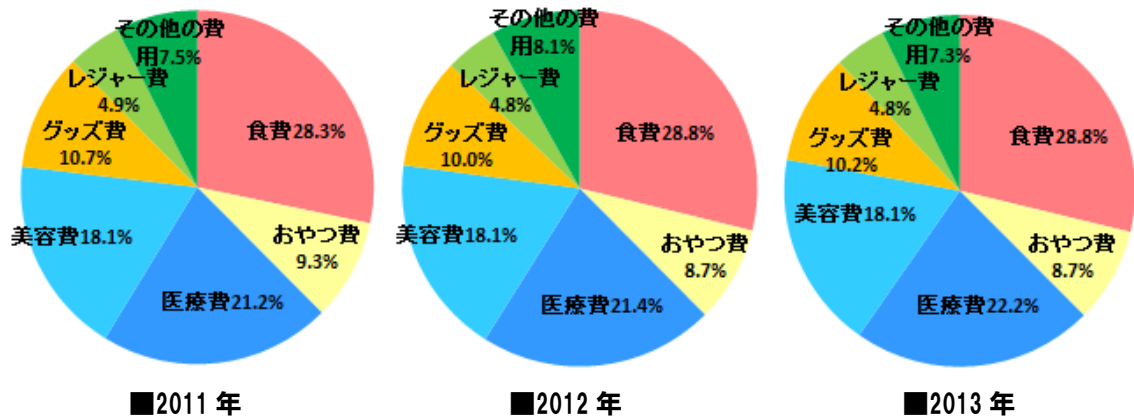
回答結果	2011年 (全体平均)	2012年 (全体平均)	2013年 (全体平均)	前年比
食費	3,140円	2,974円	3,284円	↑ 110.4%
おやつ費	858円	755円	846円	↑ 112.1%
医療費	2,066円	1,945円	2,266円	↑ 116.5%
美容費	1,482円	1,390円	1,511円	↑ 108.7%
グッズ費	1,060円	948円	1,040円	↑ 109.7%
レジャー費	404円	378円	400円	↑ 106.0%
その他の費用	662円	675円	653円	↓ 96.8%
平均合計	9,673円	9,065円	10,002円	↑ 110.3%

【食費】【医療費】【美容費】など7つの項目ごとに分けアンケートを行った結果、1ヶ月の平均飼育費用が「10,002円」と前年同時期の調査結果「9,065円」と比べ月間費用で「935円」増加（110.3%）していることが分かりました。アベノミクス効果による景気の回復基調を踏まえ、個人消費が増加するなか、ペットの家計簿についても回復傾向が見られました。費用別では、特に【医療費】が増加傾向にあり、ペットの健康への投資意識が高まっていることがうかがえます。

■1ヶ月の平均飼育費用の対比（犬オーナー）

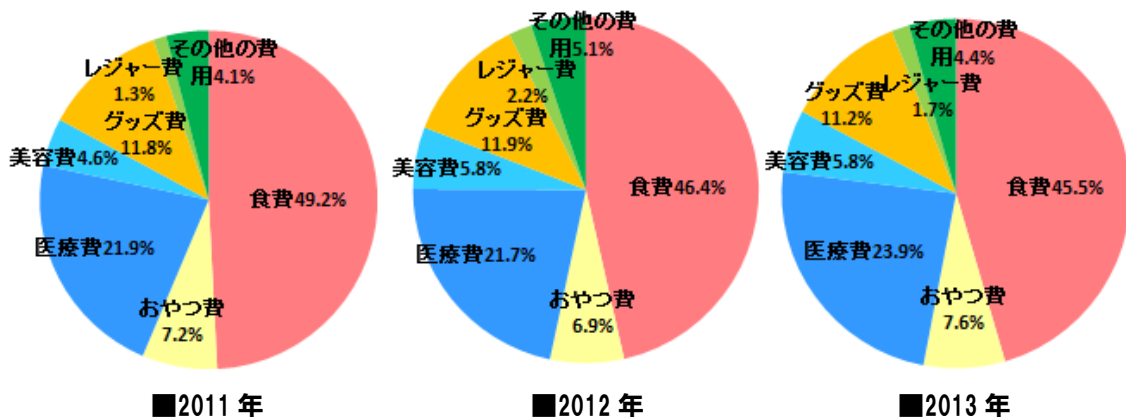
回答結果	2011年 (全体平均)	2012年 (全体平均)	2013年 (全体平均)	前年比
食費	3,123円	2,969円	3,299円	↑ 111.1%
おやつ費	1,023円	901円	1,001円	↑ 111.1%
医療費	2,341円	2,204円	2,545円	↑ 115.4%
美容費	2,001円	1,869円	2,076円	↑ 111.1%
グッズ費	1,186円	1,036円	1,164円	↑ 112.4%
レジャー費	544円	491円	546円	↑ 111.2%
その他の費用	826円	837円	832円	↓ 99.3%
平均合計	11,044円	10,307円	11,462円	↑ 111.2%

犬オーナーの1ヶ月の平均飼育費用が「11,462円」と前年同時期の調査結果「10,307円」と比べて月間費用で「1,155円」増加（111.2%）という結果に。「その他の費用」以外の全ての項目で10ポイント以上アップしており、犬オーナーの消費マインドが全体的に高まっていることがうかがえます。

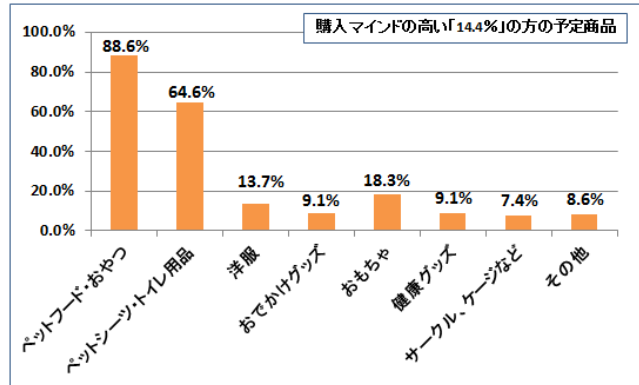
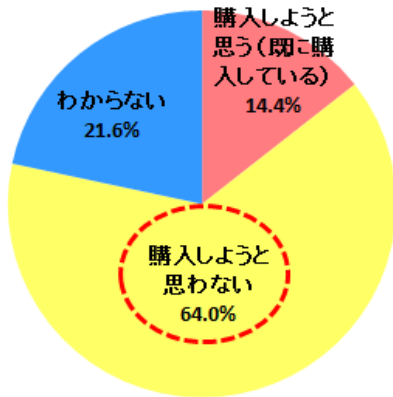
■1ヶ月の平均飼育費用の占有率の対比（犬オーナー）

■1ヶ月の平均飼育費用の対比（猫オーナー）

回答結果	2011年 (全体平均)	2012年 (全体平均)	2013年 (全体平均)	前年比
食費	3,023円	2,985円	3,256円	↑ 109.1%
おやつ費	443円	443円	541円	↑ 122.0%
医療費	1,345円	1,396円	1,715円	↑ 122.8%
美容費	281円	372円	416円	↑ 111.6%
グッズ費	728円	762円	802円	↑ 105.2%
レジャー費	77円	138円	119円	↓ 85.8%
その他の費用	249円	330円	313円	↓ 94.8%
平均合計	6,146円	6,428円	7,160円	↑ 111.4%

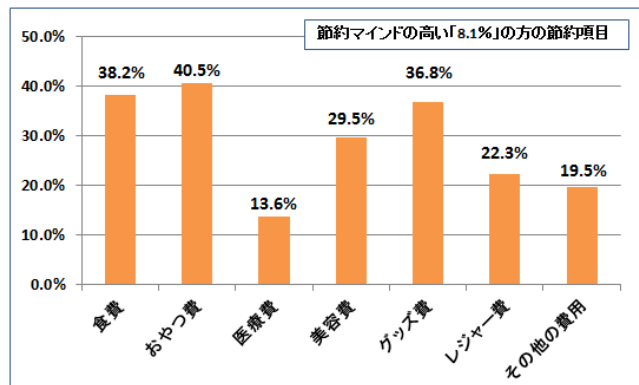
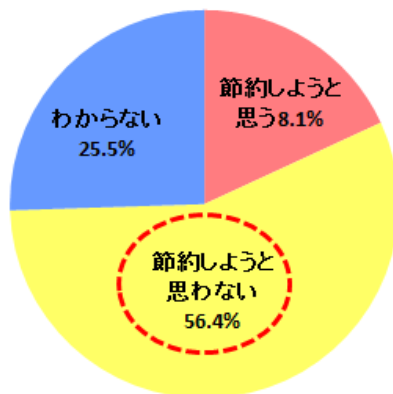
猫オーナーの1ヶ月の平均飼育費用が「7,160円」と前年同時期の調査結果「6,428円」と比べて月間費用で「732円」増加（111.4%）という結果に。【食費】と【医療費】が支出の中心ですが、【医療費】の費用金額および家計における占有率が年々高まっていることが分かります。

■1ヶ月の平均飼育費用の占有率の対比（猫オーナー）


■消費税増税前に駆け込みでペット用品を購入しようと思いませんか？



■消費税増税後にペット関連費用を節約しますか？



消費税増税前に駆け込みで「購入しようと思わない」と回答している方が6割以上（64.0%）とペットの家計においては消費税増税に伴う駆け込み需要はあまりみられず全体的に落ち着いた対応をされているペットオーナーが多いようです。一方、駆け込みでの購入を予定しているペットオーナーについては、「ペットフード・おやつ」・「ペットシート・トイレ用品」といった日用品の購入マインドが高く、これらの商品では駆け込み需要の反動の可能性が考えられます。

また、消費税増税後に「節約しようと思わない」と回答している方が5割以上（56.4%）という結果となり、ペットのための費用を惜しまない傾向が見てとれます。

ペットの家計は、ペットオーナーの生活環境や今後の景気動向に影響を受けることが想定されますが、今回の調査ではペットの家計に対する消費税増税の影響は限定的であるという結果となりました。

一方、2015年10月に再度の消費税増税が予定されており、今後わたしたちの家計だけでなくペットの家計への影響についても更に注視する必要があるようです。

■ペットの種類別 1 ヶ月の平均飼育費用の対比

回答結果	2011年 (全体平均)	2012年 (全体平均)	2013年 (全体平均)	前年比
ブードル	12,705円	13,746円	15,599円	↑ 113.5%
フレンチ・ブルドッグ	7,600円	5,625円	14,925円	↑ 265.3%
ボメラニアン	11,780円	9,496円	14,321円	↑ 150.8%
シー・ズー	10,945円	9,522円	13,418円	↑ 140.9%
その他/大型犬	10,491円	9,464円	12,955円	↑ 136.9%
チワワ	9,998円	10,297円	11,775円	↑ 114.4%
ヨークシャー・テリア	10,209円	8,558円	11,754円	↑ 137.3%
ダックスフンド	9,247円	8,739円	10,957円	↑ 125.4%
柴犬	8,140円	7,957円	10,316円	↑ 129.6%
その他/中型・小型犬	8,290円	8,368円	10,123円	↑ 121.0%
猫	6,148円	5,948円	7,160円	↑ 120.4%

各犬種別に前年との費用の比較をしたところ、「ブードル」は3年連続で飼育費用が1位に。飼育費用全体の増加を踏まえ、全種軒並み増加という結果に。

■ペットの家計のやりくりで工夫していることを教えてください。(フリーアンサー)

- 単品で買うよりもまとめて買うとその時の出費は大きいのですが、かなり節約になる。(20代・女性)
- ネットを利用して底値をチェック。その後お店かネットで購入するか考える。(30代・女性)
- ペットフードをネットで購入する際に、友達と共同購入して出費を抑えている。(40代・女性)
- 洋服はオークションを利用しています。お店で買うよりずっと安く可愛いものが手に入る。(50代・女性)
- クレジットカードで私物を購入し、貯まったポイントでフードやグッズを購入。(30代・男性)
- 近所にトリミングの学校があるので、カットモデルとして無料でカットしてもらえます。(50代・女性)
- 自宅でトリマーテーブル、プロ用に近いバリカン、ハサミ等揃えて自分で全てやっています。(40代・男性)

ペットの家計のやりくりで工夫していることを質問したところ、様々な回答が集まるなか、節約の方法として大きく2つの内容に分類できました。1つは「まとめ買いやインターネットの活用による単価削減」で、「単品で買うよりもまとめて買うとその時の出費は大きいのですが、かなり節約になる(20代・女性)」や「ネットを利用して底値をチェック。その後お店かネットで購入するか考える(30代・女性)」のようにインターネットなどを有効活用して節約しているという回答が集まりました。

もう1つは「無料サービスやポイントの活用による支出の抑制」で、「クレジットカードで私物を購入し、貯まったポイントでフードやグッズを購入(30代・男性)」や「近所にトリミングの学校があるので、カットモデルとして無料でカットしてもらえます(50代・女性)」のように外部のサービスを上手に利用していることがうかがえます。また、なかには「自宅でトリマーテーブル、プロ用に近いバリカン、ハサミ等そろえて自分で全てやっています(40代・男性)」のようにペットオーナー自身が労力を惜しまずに節約している姿も見受けられます。